

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.2 令和2年6月12日
発行：きこえとことば支援センター
(秋田県立聴覚支援学校内)

特別支援教育アドバイザー 佐藤 淳先生より

このたび、特別支援教育アドバイザーを務めることになりました佐藤です。
聴覚支援（聾）学校には教諭として7年間、教頭として3年間勤務したことがあります。教諭時代には、当時の特別支援教育アドバイザーの石井辰徳先生のお伴をして、県内の難聴学級等にお邪魔したことが思い出されます。石井先生のような専門性はありませんが、誠実さはしっかりと受け継いで役目を果たしたいと思っています。どうか、よろしくお願いします。



聞こえにくい子どもとのコミュニケーションのコツ

聞こえにくい子どもとのコミュニケーションでは、自分ができる様々な方法を用いて通じ合う工夫をすることが基本になります。

一番大切なことは、相手に伝えよう、相手の言うことを理解しようという姿勢です。その一つとして、「相手と顔を見合わせて話す」があります。会話においては口形を頼りにする子どもも多いからです。話し手が顔を背けて話してしまうと、口形が見えなくなって、会話を理解しにくくなりますので、気をつけたいところです。

なお、現在は、コロナ感染防止のために双方がマスクを着用したり、距離を取ったりする生活スタイルに変わっています。飛沫感染防止をしながら、コミュニケーションや学習においては、確実に伝え合うための工夫がますます重要になります。

○透明マスク等の使用

試作した
もの



場面に応じて市販の透明マスクを使用しています。また、飛沫を防ぎ、夏場も対応できるフェイスシールドの試作も重ねています。

○透明シートの使用



本校の各教室、サテライト教室では、透明マスクの使用に加え、透明ボード等を設置して、教師の口元や表情が見えるようにしています。見て分かる工夫として、板書の活用も大事にしています。

教師と児童の間に設置



ご紹介 ～聴覚障害支援ガイド～

令和2年3月に「聴覚障害支援ガイド」を改訂しました。
「教室環境で必要なものを確認したい」「お子さんの実態に合わせた支援について、もっと詳しく知りたい」等、ご希望がありましたら、是非、本校までご連絡ください。

進路先を考える際に、ポイントとなるのは何だろう。



デジタルワイレス補聴援助システム「ロジャー」の消毒について

飛沫等による新型コロナウイルス感染予防のため、共用する機器の消毒もされていると思います。ロジャーについてメーカーに問い合わせた内容を掲載しますので、参考にしてください。

1 消毒の際の注意点

- ・消毒による故障は、修理保証の対象外

(家庭で購入した機器については、消毒方法等を保護者と要相談)

- ・ロジャーマイク、受信機ともに精密機械なので、水分が入らないようにする。
- ・ノンアルコール系の消毒剤を用いる。(×スプレー噴霧。ティッシュに吹きかけての使用は可)
- ・マイク部分は絶対に消毒しない。
- ・一日一回はよいが、こまめに拭くのはよくない。

2 タッチスクリーン、ロジャーペン、セレクト) → 使用者が代わる際に、表面、首掛けひもを消毒。

3 タイループ型受信機(児童生徒使用) → 一日一回、消毒。

職員研修の実践紹介 その1

難聴学級新設校等からの依頼を受け、4・5月で小学校2校、中学校4校を訪問させていただきました。

今年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため、時期や3密を避けるために、場所等を十分検討して実施しています。

城南中学校では、大きなホールに間隔を十分にとって生徒用机を並べて、会場を設定していました。先生方からは、「補聴器の効果に個人差があることが分かった(つけていればきちんと聞こえると思っていた)」「周囲の理解と協力が必要だと強く感じた」「話し合いをする際のルール作りをしたい」等、難聴生徒のよりよい学校生活につながる感想をいただきました。



秋田市立城南中学校の様子

お知らせ ～小学生の交流会～

コロナウイルス感染症防止のため、今年度の小学生の交流会は、規模を縮小し、次のように実施することにいたしました。詳細につきましては、近くなりましたらご案内いたします。

◇南の交流会(対象; 県南地区)	10月29日(木) 15時30分から16時30分
◇難聴児童交流会(対象; 中央地区)	11月14日(土) 10時から11時
補聴相談会(対象; 全県 個別対応)	11月14日(土) 11時10分から15時
◇北の交流会(対象; 県北地区)	11月24日(火) 14時45分から15時45分

情報紙「でんでんくん」への掲載希望について



「でんでんくん」に掲載してほしい情報について、たくさんのご回答をいただきありがとうございました。中でも、障害理解、自立活動の内容と実践例、学習支援、進路情報、難聴学級の指導例等についてのご要望が多くありました。今号では、学習支援につながる子どもとのコミュニケーションのコツや授業を行う際の留意点等について載せました。

今後ともご要望のあった内容について掲載していきますので、ご意見やご感想をお願いいたします。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)【直通携帯電話】090-8784-6302
〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号
【聴覚支援学校】TEL: 018-889-8572 FAX: 018-889-8575
E-mail: chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp